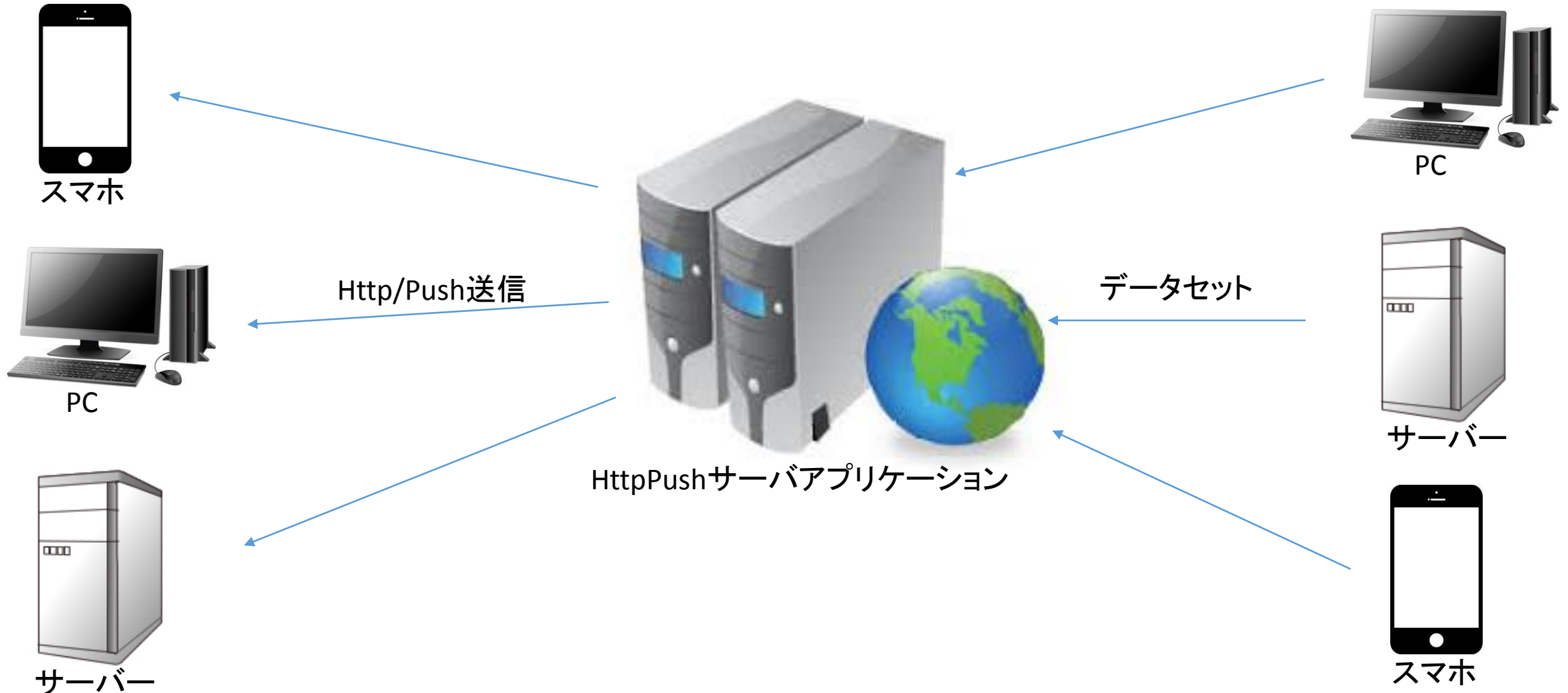


HttpPush

リアルタイムHttp／Pushデータ配信サーバアプリケーション

利用イメージ

さまざまなデバイス、プラットフォームで、HttpPushサービスを経由して、リアルタイムHTTP/Push送信が可能。

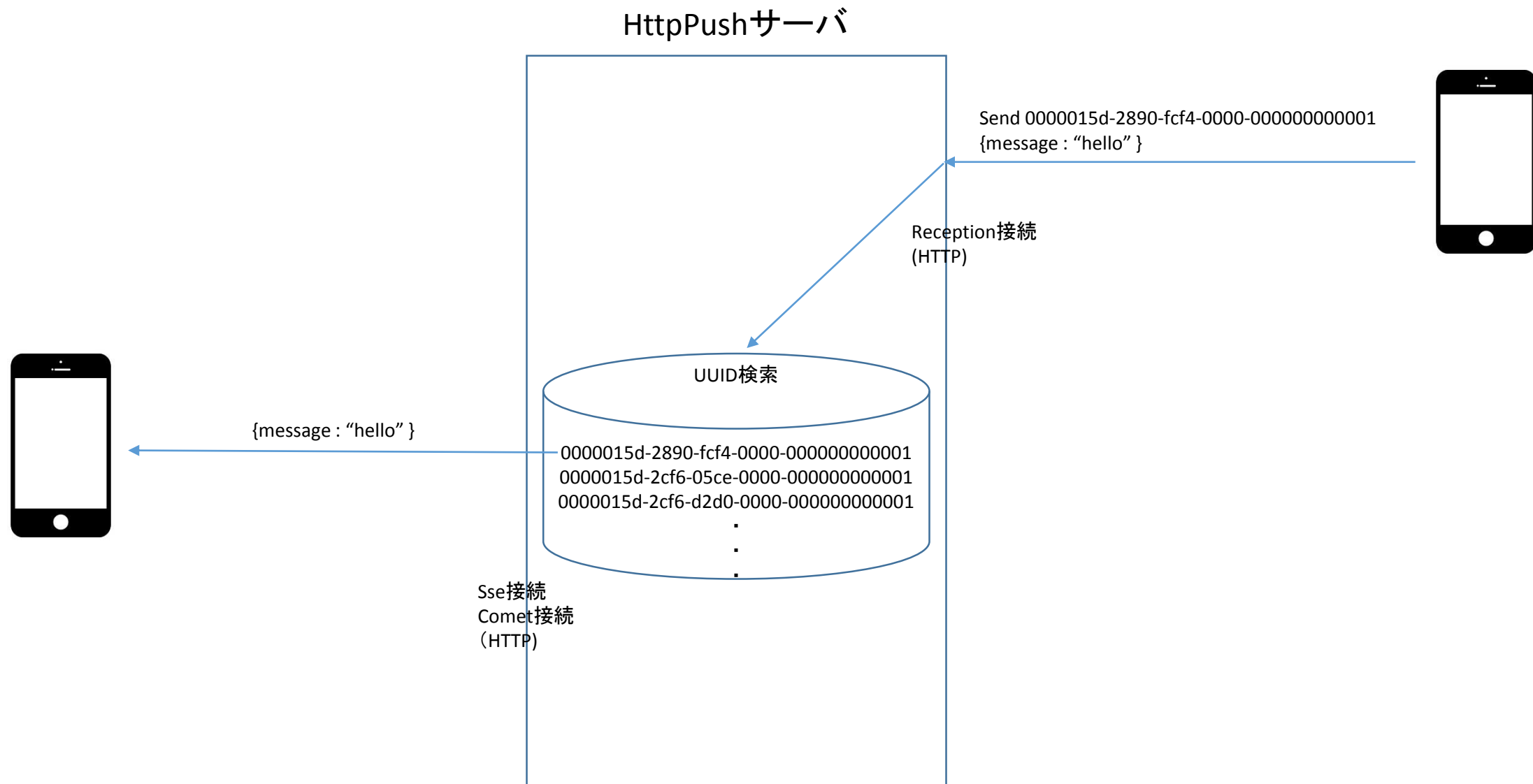


利用想定

- Push送信を行う場合「1) モバイルPush通知」か「2) WebSocketでPush送信実装」を行う必要がある。
- 「モバイルPush通知」は便利だが、モバイル環境しか使えないのと、Push通知をアプリのトリガーとして、使えない点がある。
- 「WebSocketでPush送信実装」は、実装と管理が大変である。
- あらゆるデバイスやプラットフォームから利用する場合、項1では実現不可、項2では、対応が大変である。

これらの問題を払拭して、あらゆる環境から、比較的「楽」にPush送信が使える、それが「HttpPushサーバ」です。

機能イメージ



機能説明

- 1)リアルタイム受信待ち(SSE接続部)でHTTP/Push通知を待つ
- 2)リアルタイムデータ受付(Reception接続部)にデータ送信を行うことで、対するリアルタイム受信待ちにHTTP/Push通知を行う。
- 3)CORS対応
- 4)SSE(ServerSentEvent)に対応していないブラウザ向けに、Cometで同様の機能を提供

現在の問題点・課題

- receptionとsse(or comet)との接続に対して、セキュリティが無い。問題としてはUUIDが分かれば、誰でも接続できてしまう。
- Clientが切断された時に、再接続しない。
- 複数台HttpPushサーバを起動しても、スケールしない。
- 現在のバージョン(1.0.0)ではグループ配信機能は無いので、グループチャットなどには、向いていない。
- Client接続機能の提供、java(Android)のみ、swift(ios)提供予定